

## 研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学呼吸器外科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2024年 12月

福島県立医科大学呼吸器外科学講座 岡部 直行

### ■ 研究課題名

---

非小細胞肺癌の腫瘍内細菌叢と三次リンパ様構造の関与の解明のための後ろ向き観察研究

### ■ 研究期間

---

2024年12月 ~ 2027年1月

### ■ 研究の目的・意義

---

技術の進歩で腫瘍に細菌がいることがわかってきています。これまでの研究では腸内細菌が腫瘍に対して、良い影響、悪い影響を及ぼすことが報告されていますが、腫瘍の細菌がどのような影響を及ぼしているかは世界でも僅かな報告のみです。一方で私たちは腫瘍における三次リンパ球構造（以下、TLS）について研究を行っています。TLSとは免疫細胞の集合体で、炎症や腫瘍に伴い形成されるものです。私たちの研究では肺癌患者さんの生命予後に影響を及ぼすことがわかっています。しかし、TLSがどのように作られるかは明らかではありません。

そこでTLSの構築のメカニズムの理解に、腫瘍内細菌叢というこれまでにない新たな視点を導入するものであり、本研究の当該領域に与えるインパクトは大きいと考えられます。TLS構築における腫瘍内細菌の重要性を明らかにすることで、癌治療における新しい治療の開発に貢献されることが期待され、また腫瘍内細菌叢を調整することで、癌治療の効果を向上させる新たな手法となる可能性があります。

### ■ 研究対象となる方

---

先行研究「非小細胞肺癌における、腫瘍浸潤リンパ球と TLS、腫瘍免疫関連分子との関連 後ろ向き iTN」(倫理委員会承認番号:一般 30161)にご参加いただいている患者さんのうち、TLS 高発現群と低発現群の患者さんが対象です。

### ■ 研究の方法

---

腫瘍および正常肺組織のから DNA・RNA を抽出し、16sRNA という細菌の遺伝子情報を特定し

ます。TLS 高発現群と低発現群での患者さんで細菌の種類、多様性がどのように違うかを明らかにします。また、特徴的な細菌について「どんな働きをしていそうか」をコンピューターで予測し、さらに腫瘍の中の「どこに細菌がいて、周りの免疫細胞やがん細胞とどう関わっているか」を地図のように可視化する解析（空間オミックス解析）も行います。

## ■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2025年1月1日

## ■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学附属病院呼吸器外科であり、研究責任者は岡部直行です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 **鈴木弘行**であり、それらの情報は福島県立医科大学呼吸器外科学講座で利用し解析を行います。

## ■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

収集された情報、また組織の一部は、解析のため委託先であるタカラバイオ株式会社（代表取締役社長 仲尾功一）・株式会社生物技研（業務責任者 阿部まり花）へ提供します。USBにて解析に必要な情報を提供します、また、既存組織は当院に凍結保管されており、冷凍で郵送します。

## ■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

### 問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学 呼吸器外科学講座 担当：猪俣 頌

電話：024-547-1252 FAX：024-548-2735

e-mail：syoinoma@fmu.ac.jp